

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオンタウン茨木太田新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府茨木市城の前町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	4,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年1月31日
敷地面積	29,852 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)京都支社 西山謙吾
建築面積	13,168 m ²	確認日	2020年1月31日
延床面積	24,640 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)京都支社 西山謙吾



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	3.3m以上の天井高やリフレッシュスペースを確保し、施設利用者の過ごしやすい環境を整備するとともに、節水型機器の採用や外構・壁面緑化などの地球環境への配慮をおこなっている	その他 特に無し
Q1 室内環境	特に無し	Q2 サービス性能 物販店舗天井高3.3m以上、階高3.9m以上
Q3 室外環境(敷地内)	特に無し	特に無し
LR1 エネルギー	BEIm=0.73	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用に対する取組みとして内装材と設備が錯綜せず、解体・改修・更新時に容易に取り外すことができる
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車場・駐輪場が計画されている	特に無し

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0145

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)イオンタウン茨木太田新築工事					
		建設地	茨木市城の前町					
		用途/区分	物販店 飲食店 集会所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					2		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				2.3	2	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.4	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								